

# 子どもを伸ばす「効果的な」 学習支援現場を作るヒント

---

特定非営利活動法人キッズドア  
養成講座公認トレーナー  
梁瀬 真義



- 学習支援事業責任者
- キッズドア公認養成講座トレーナー
- 企業連携プログラム担当

キッズドア  
チーフコーディネーター

梁瀬 真義

# 「学習支援」定義とは??

---

よく、こんなことを言われます。

学習支援って  
ただ勉強を教えるだけじゃないの？



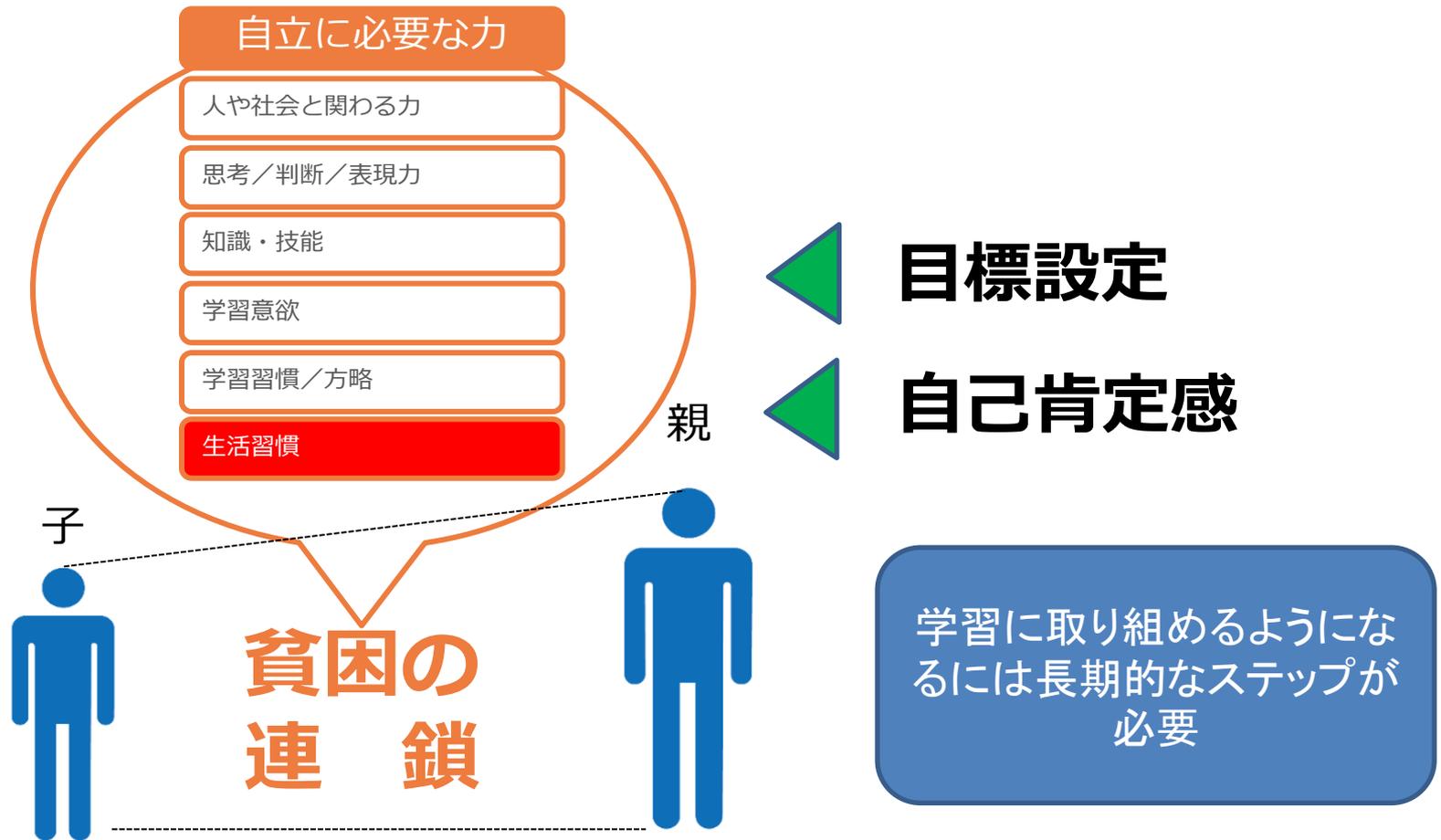
## ボランティアによる 学習支援のゴール

それは、  
**子どもたちの自立**  
と考えていきましょう。

# 自立を目指す上で考えたいこと



「自立」に必要なステップを学習支援によりサポート  
寄り添い→理解→信頼→生活習慣→学習習慣へ



また、  
キッズドアの学習会現場でも  
今までに  
こんな**意見のすれちがい**が  
ありました。

## <事例1> 勉強しない子を 頭ごなしに叱りつける

その結果・・・  
さらに勉強に気が向かなくなり、  
帰ってしまう

## <事例2>

こんな問題もわからないの？

という発言で

子どもを傷つけてしまう

その結果・・・

もうここには来たくない と

言って

学習会を辞めてしまう

## <事例3>

東大に入るべき

単語はひたすら書いて覚えるべき

など、

自分の教育観を押し付ける

その結果・・・

**純粹**な分、

言うとおりに実行するものの

結果が出なかったときに

激しく気を落としてしまう。自

分を責めてしまう・・・

## <事例4>

ほかの生徒の  
悪口をいう子に対し、だ  
れも強く言えない・・・

その結果・・・

**問題行動はエスカレート・・・こ**

**の先生じゃなきゃ**

**勉強しない！など**

**他の行動にも現れるように。**

これらはすべて、  
子どもたちの置かれている  
**背景への理解と、配慮が**  
足りなかった事例です。

## 1. 支援する側に求められるスタンス

- ★本当に困っているのは子どもたちである
- ★複合的な問題を整理し、解決の糸口を探る。
- ★様々な問題があるが、共通していることは**ストレス**  
(子どものストレスがどこから来ているかを見立てる)

## 2. 子どもと話す・子どもを見る

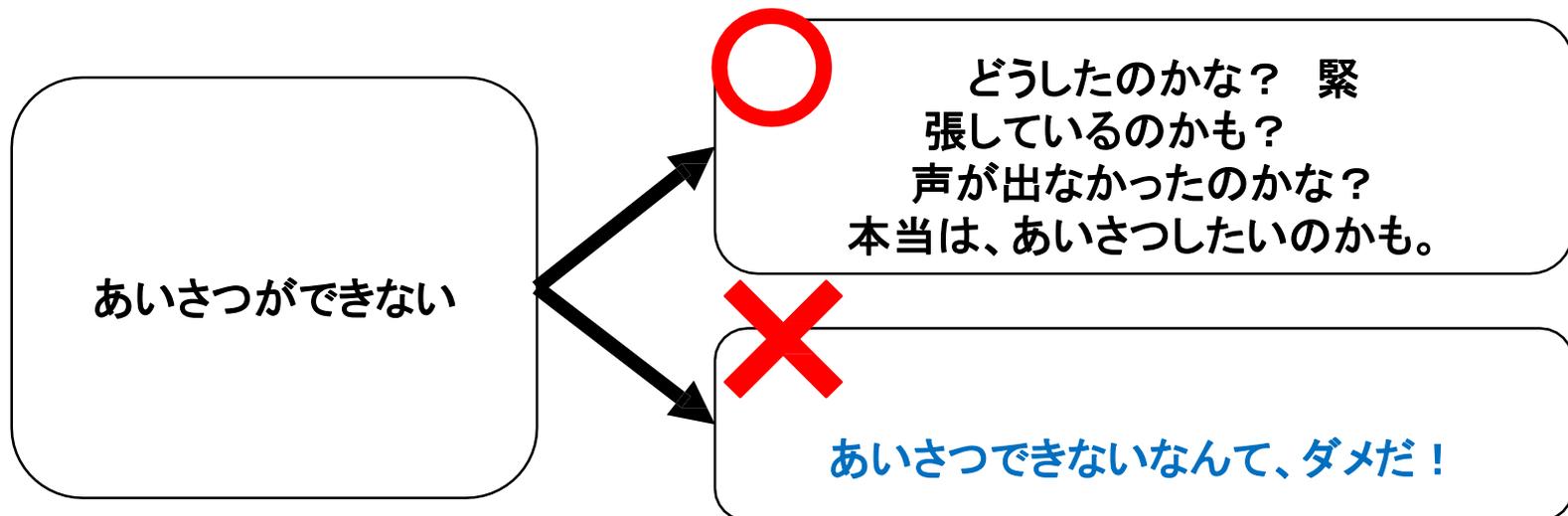
- ★純粋な目で子どもを見る
- ★根拠のない評価を避ける

## 3. 関係づくり

- ★存在を**ありのまま**に認める
- ★**安心**できる居場所や話し相手を確認してあげる
- ★1対1の関係をつくる
- ★問題を成長のきっかけに
- ★自分でも「**やればできる**」の達成感。自己否定から自己肯定へと切り替える

## 大切なのは想像力

あいさつができないこと、  
なかなか話ができず無言になってしまうこと、  
それらを頭ごなしに「ダメだ！」というのではなく、**そこから何を想像するかが**  
ポイントとなってきます。



## 接し方のポイント

子どもたちへの接し方に正解はありません。ここでは、わたしたちが実践してきた中で**効果的なやり方**をお伝えします。

- ①子どもと**同じ目線**に立って話をする  
(上から目線はNG!)
- ②**褒める**！(全身で気持ちを伝えて!)
- ③**優しく寄り添う**

休憩

---

# 学習支援の進め方

---

## 学習支援の全体像





## ラポールを形成しよう。

子どもたちの中には、  
家庭環境から、大人に「不信感」を抱いている子もいます。

ラポールとは、フランス語で「橋をかける」という意味。相手と自分との間に心の橋が架かっている状態、心が通じ合い、互いに信頼し、互いが相手を受け入れている状態を指します。

まずは子どもとの間にある壁をなくし、  
**信頼関係**を築きましょう。



## ラポール形成の前準備

# 自己紹介で

# 自分を知ってもらおう

いきなり、名前も知らない人から、根掘り葉掘り自分のことを聞かれても、

良い思いをする人はいません。

まずは自己開示することが何より大切です。



## ラポール形成の前準備

# 相手を できる人と信じる

子どもたちの中には  
「なぜできないの？」と言われて育ち、  
「自分はできない子なんだ」と  
無意識に刷り込まれている子もいます。  
「相手を無条件に信じる」というスタンスで、子ども  
たちと向き合ってください。



## ラポール形成のための 3つのポイント

### 1. 傾聴

傾聴とは、意識を集中させて、相手の話を「聴く」ことです。話を聞いていると、つい自分の話をしてしまいそうになりますが、「**ただ聴く**」ことがなにより大切。「これを言おう」「相手を変えよう」などの思考を捨て、ありのままに相手の話を聴くことが、相手の存在を承認することにつながります。

### 2. 共感

「共感」とは、相手がある状況において感じている感情を、自分の感情において理解しようとする事。不安、葛藤、つらさ、悲しさ、苦しさ、怒りなどの否定的な感情を丁寧に共感的に理解し、それを伝えることです。喜びや楽しさなどの肯定的な感情も、同様です。

### 3. 支持

「支持」とは、相手を精神的に支えることです。相手を否定・批判するのではなく、**行ってきたことやこれまでの努力などを肯定的にとらえたり**、自己否定的にとらえがちな相手の言動を肯定的にとらえたりしながら、相手にそれを示します。

※ただし、明らかにまちがった行動まで支持するというものではありません。



## 傾聴・共感・支持で使える！ 基本的応答技法

- 単純な反射 「そうなんだね。」相手
- 反復 の発言を繰り返す
- 言い換え 「〇〇ということだね。」
- 要約 「まとめると～だね。」
- ただ伝える「がんばったね」「辛かったね」
- “I”メッセージ  
「勉強は嫌いだけど頑張ってここに来ているんだね。私はえらいと思うよ。」



## 問題・ニーズを発見しよう

学習支援のゴールは「子どもの自立」です。学習を通じて、自分の希望の進路を実現し、貧困の連鎖を止めなければなりません。

そのためには、  
その子の**実現したい未来**  
を、明確にしなければなりません。

②問題・  
ニーズの  
発見

## 質問しよう！

質問には、  
オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン があります。

### オープンクエスチョン

質問に答えることによって 多くのことが語れるような質問

- 最近、どう？
- ～について、どう思う？

### クローズドクエスチョン

はい / いいえ  
あるいは  
答えが一言でいえるような  
質問

- ポケモンは好き？
- 好きなポケモンはなに？

②問題・  
ニーズの  
発見

## 何が課題・ニーズなんだろう？

さまざまな質問をして、見えたことから  
「課題」「ニーズ」をさぐります。

たとえば以下のことがわかったとします。

例) 中2・男子

- 進路が広がるので大学に行きたいと思っている。
- 高校はどこに行ってもいいかわからない。
- 勉強は苦手。特に英語はアルファベットから苦手。
- ポケモンが好き。



## 目標設定・動機づけをしよう

課題やニーズが明らかになったら、  
**目標設定・動機づけ**  
を行います。

目標とやる気は、いわば**車の両輪の関係**です。  
達成できそうになく、つらい目標では、  
本人のやる気は減退してしまいます。達  
成したい！楽しく目指せそう！そんな  
**やる気が高まるような目標**を設定しましょう。



## どんな目標設定

### ・動機づけをする？

たとえば以下のことがわかっているとします。

例) 中3・男子

- 進路が広がるので大学に行きたいと思っている。
- 高校はどこに行ってもいいかわからない。
- 自分は頭があまり良くないので高校に行けるか不安。
- 勉強は苦手。特に英語はアルファベットから苦手。
- ポケモンが好き。

あなたなら、どんな(大)目標を設定しますか？



## プランニング

具体的な目標が決まったら、それをどのように達成するか、プランを立てましょう。

プランを立てる際、

● **小さな目標の設定** が必要になります。

大きな目標に到達するための、

**小さな到達点を、子どもと相談しながら** たくさん作りましょう。



# プランニングに必要な観点

プランニングに必要なのは、以下の観点です。

## ■大目標

## ■小さな目標

小さな目標を達成するために

- ・今日の目標は？
- ・どの単元を扱うか？
- ・意識して取り組みたいこと

・タイムスケジュール、時間の流れ

・支援者側が褒めるポイント

・最低限クリアしてほしいこの日のゴール



# プランニング

それぞれ根拠をもって設定することが大切です。

■大目標: 英語が苦手なSくん(現状、英語は16点..)

行きたい高校に合格するため、入試で英語で40点をとる!

■小さな目標: この1ヶ月で知っている単語・文法を増やす!

・今日の目標: 英語への苦手意識を払しょくする

・どの単元を扱うか?: 都立過去問31年度大問4

(理由! 入試まで時間がないため、実際に使われる長文を伴走しながら読ませて問題文に慣れてもらう。)

・意識して取り組みたいこと:

本人の興味を織り交ぜて楽しく読解して英文そのものへの抵抗感を減らしてあげる。

・タイムスケジュール、時間の流れ(※1時間のコマと仮定)

～10分 前回覚えた単語の確認。覚えていない単語はその場で覚える  
長文の読み方のレクチャー

10分～15分 長文を伴走しながら一緒に読む(本番ではないので都度解説)

15分～40分 問題を解いてみよう

40分～50分 今日やったことの振り返り+宿題の提示(扱った重要な文法を復習→次回テスト)

50分～60分

「頑張ったね!」という声掛け

・支援者側の成果褒めるポイント: 伴走なしで重要な文法構造の問題を解ける

・最低限のこの日のゴール: 長文を一通り精読する



⑤  
指導実施

## 指導実施

プランを立てたら、  
まずはやってみましょう！

ただし、プランに縛られすぎることはありません。生徒  
の様子を見ながら、  
ペースをゆっくりにしたり、  
この日の目標を調整してもOKです。

ひとまず、  
「最低限クリアしてほしいこと」を意識しつつ 楽し  
んで指導にあたってください。



⑥  
経過承認

## 経過承認

絶対にやっていただきたいことが  
**経過の承認**  
です。

さっきできなかった問題を  
説明を聞いて一緒にやったらできるようになった！ と  
か、  
計算が速い！字がきれい！  
とか、  
経過で承認できることをどんどん褒めましょう！



⑦  
結果承認

## 結果承認

テストの点数が上がった！  
英検3級に合格した！  
など、目標を達成できたような 明  
確な結果が出たら  
**結果の承認**  
を必ずしてください。

やったね～！！  
と、一緒に喜んであげてください。



⑦  
結果承認

## 結果承認＋振り返り

結果の承認と合わせて、  
**振り返り**  
をしましょう。

結果が出ていないのであれば、  
行っているプロセスが  
子どもに合っているかどうか？ ど  
のような教え方が  
この子には合うのか？  
を、都度見直していく必要があります。

# 学習支援の全体像のおさらい

